

横浜スタジアムの改修について

- メインスコアボードの改修について（議事2）
- 関内駅側ゲート部分へのデジタルサイネージの設置について（議事3）

横浜市都市整備局

令和6年8月27日

旧市庁舎街区や関内駅前地区の開発等のまちの変化に伴い、関内・関外地区の更なるにぎわい創出に向けて、横浜スタジアムにおいてメインスコアボードの改修及び関内駅側ゲート部分へのデジタルサイネージの設置を行いたいと、株式会社横浜スタジアムから相談がありました。

スポーツ等の興行を行う施設としての機能向上や、関内駅前の2街区と連動した新たな景観の創出及び回遊性の向上等の効果が期待できる一方、横浜公園は景観重要公共施設として位置付けられ、景観上・歴史上重要な公園施設であることから、協議にあたり慎重な判断が求められるため、本件を都市美対策審議会に付議いたします。

メインスコアボードの改修について (議事2)

配置・大きさ・デザイン等を含め
今回提示する案について審議

関内駅側ゲート部分へのデジタルサイネージの設置について (議事3)

配置・大きさ・形状・表示内容等について今後
継続審議することを前提に、にぎわい創出や空間演出に
デジタルサイネージを用いることについて審議

令和2年増築時のコンセプトと都市美対策審議会での議論（今回計画に関連する部分）

①新たな市民開放



回遊デッキからスタジアム内が見える
ゲート（ドリームゲート）を設置し、
中の賑わいを外へ滲み出し



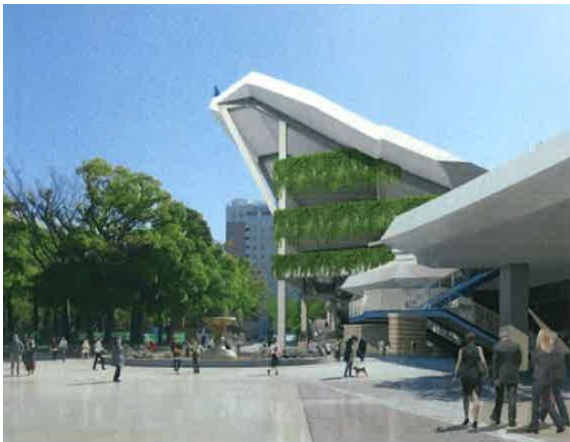
公園や街並みを望む新たな
視点場を創出

②周辺に対するにぎわいの創出と回遊性の向上



関内駅側と日本大通り側にゲート空間を創出

③壁面緑化による緑地の立体化



増席部分の小口面や日本庭園側の壁面を緑化し、
造園デザインの再構築と緑環境の向上を図った

④圧迫感の低減



回遊デッキの形状をできるだけスリム化し、手すりの素材を透過性のあるものに変更 2